

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービスサンフラワー

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	8		近隣施設も利用しながら過ごしている。	
	2	職員の配置数は適切である	4	6	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4	5	床の段差がないのが良い。 低い段差がある場所もある。	障がい度に応じてスロープ、 手すり等を設置出来れば良い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3	5	PDCAサイクルに取り組んでいない。	PDCAの勉強会を開催して取り組んでいく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			月1回の職員の勉強会や石川県の研修会など参加している。	今以上に学習の機会、時間を確保していく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	3		契約時にアセスメントを行い、 ニーズなどを聴いている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3	1		標準化されたツールを企画していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1		担当を決めてチームで計画している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	2			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8	2	1	個別と集団活動を組み合わせて プログラムを作成し活動している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3	1	打ち合わせがない。	支援開始前の打合せやミーティングの時間を 作り取組んでいく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	3	1	打ち合わせがない。	支援終了後の打合せやミーティングの時間を 作り取組んでいく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		2	支援の検証・改善につなげていない。	打合せで支援検証・改善の話し合いをし支援に繋げていく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	3	1	月2回の職員会議でモニタリングを 行っているが見直しの必要性が周 知されていない。	定期的にモニタリングを行っているので計画 の見直しの必要性も同時に伝えていく。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	5		「ガイドライン」が何かわからない	職員会議で勉強会も含め「ガイドライン」の説 明もし、内容等を周知する。	
関係機関や 保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	2		情報共有している方だと思う。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	8	主治医との連絡体制はとっていない	保護者を通しているので必要ないかと思うが、契約時に確認する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	6	1	卒園してからの情報共有は行っていない。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		11		まだ放課後サービスを終了した児童がいないのでわからない。	これから行っていけば良いと思う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3	2	定期的に研修の案内があるのでそれに参加している。	今後も連携して研修等を受けていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	5	近くに児童クラブや児童館がないので交流する機会がない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	9	1	年に1回アートの展示会で参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1		連絡帳や送迎時で伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	7	2	「ペアレント・トレーニング」が何かわからない。	「ペアレント・トレーニング」とは？の勉強会を行い内容など把握する。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている					
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	5		コロナの影響で開催できていないが今後、開催したいと思っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11			写真を掲載しおたよりを定期的に発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	11				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	3		以前はBBQなど開催して招待していたがコロナ禍で開催できていない。	今後様子をみながら継続して開催する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	3			保護者にも周知する方法を考え提供する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11			年に2回の避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	2		記載しているか把握していない。	計画書に記載しているか等周知するように会議等で報告する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	9		保護者からの指示がされている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	3		職員会議で周知し共有している。	